

=H26年度 全国学力・学習状況調査の結果から=

今月は、4月22日に、中学3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果から見えることを中心に「二中の輪」をお届けいたします。現中学3年生はこつこつと基礎・基本の学習を積み上げ、「授業」を大切にすることで、知識を活用する学力も少しずつついてきており、学習で頑張っている成果が出てきています。しかしながら、家庭学習の定着等、依然、考えなければならない課題もはっきりと見られ、結果の概要をもとに、お子さまの学習状況について、ご家庭の方でも話し合っていたいただきたいと思います。



○学力調査の結果から

【国語】

- (傾向) ・登場人物の心情や行動を読みとったり、描写を工夫して書き加えたり、「書いて表現する」ことにおいて、正答率の高さがみられた。
 ・漢字等の基礎学力に定着がみられる。
 ・資料を読みとり、要旨を伝える問題に正答率の高さがみられた。
 ・文書の構成や表現の仕方について「根拠を明確にして、自分の考えを書く」問題について課題がみられた。
 ・「読書が好きである」と回答する生徒の割合が少ない。
- (対策) * 「朝の読書」「読写」活動のさらなる定着を図る。
 * 「どんどん書かせる・表現する」指導、「読むことの楽しさ」の伝わる指導の工夫を国語科の授業を中心にさらに取り組む。
 * 基礎・基本事項がさらに定着するよう、家庭学習に力を入れる。

【数学】

- (傾向) ・数と式の基礎的事項において、正答率の高さがみられた。
 ・空間図形の構成についての理解を問う問題について正答率の高さがみられた。
 ・与えられた図や資料を用いて、数学的に説明、解釈することに課題があり、無解答率が高まる傾向にある。
 ・「問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」と回答する生徒の割合が高くなっている。
- (対策) * 基礎・基本事項を中心に家庭学習の定着を図る。
 * 基礎・基本、発展・応用の学習にしっかりと取り組めるよう、個に応じた指導の工夫、授業内容の工夫・改善に努める。

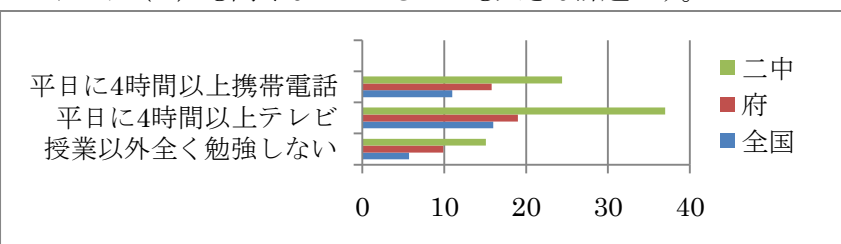
◇今後の授業改善として

- ・「学習のめあて(ねらい)」と「授業のふりかえり」について定着がみられてきたが、学ぶ側の目線で「わかった」と実感もてる授業づくりに全教科で取り組む。
- ・「読んで書く力」をつけるため、さらに「読写活動」を定着させる。
- ・国語以外の教科においても「読む力」「書く力」がつく工夫を行う。
- ・協同学習を通じて「言語活動」を重視した授業づくりに努める。

そして 気になる大きな課題・・・

携帯・スマートフォン・ゲームの使用時間が学力を積み上げていく上での大きな課題になっています!!!

中学生の携帯電話の通話やメール・ゲームを使用している時間、テレビの視聴時間が府や全国平均に比べ長くなっており、そのことが「家庭での学習時間」に大きな影響を与えています。スマートフォンの普及で、今年度はさらに、その傾向が強くなっています。例年に比べ、テレビの視聴率が15ポイント(!)も高くなっていることも大きな課題です。



合唱コンクールのお知らせ

日時： 11月 7日(金) 午前11時40分～
午後4時10分

場所： 本校 体育館 (誠心館)

※お車でのご来校はご遠慮下さいませよう、お願い致します。



授業レポート

= 3年生 英語の授業から = 学習のめあて 「協力して5+を目指す」

今、3年生の英語の授業で、ペアになって会話文を暗唱し、覚えた文を2人でスピーキングする(英語で話す)テストが行われています。満点(5+)をとれるまで、二人で何度も挑戦できるので、練習にかなり熱が入っています。中には、放課後に職員室前で何度も練習した後、テストを受けるペアの姿も見受けられます。以下は、苦勞して満点を得た子どもたちの授業の振り返りの感想です。繰り返しの練習の中で、スピーキングの力が養われていきます。互いに協力する過程で、「教える子も教えられる子も力をつけていく」そんな学習をめざしています。

前回、面倒くさくて2だったが、今回は5+ とった。協力してくれた人に感謝したい。

テストをしっかりして5点をとれました。班の子ができてなくて3回した。それで言えた時は自分のことのようにうれしかったです。班っていいなと思いました。

英文を音読してたけど、1回目はダメで、2回目は4.5で、3回目はやっと5がもらえた。1回目、2回目、失敗したから、あきらめたり、くやしくなったりしたけど、一緒のペアの子が応援してくれたから、私もここまでこれたと思う。ペアの子に感謝しています。

○生活・学習状況アンケート調査の結果から

家族との団らん、家族との対話が 子どもの夢や目標 自己肯定感を育みます!!



昨年度は、「家の人と普段、夕食を一緒に食べている」「家の人と学校の出来事について話をしている」と回答している中学生の割合が高く、以下の項目で肯定的に回答している中学生の割合も高かったのですが、今年度は「家の人と対話している」という回答の割合が減り、同じように「将来の夢や目標を持っている」「自分には、よいところがあると思う」等の回答の割合もまた減少傾向にあります。

- ・自分には、よいところがある
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している
- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- ・人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。

○ご家庭での対話が「安心感」へとつながり、子どもたちの夢や目標を育て、自己肯定感や他者への思いやりを育てていると考えられます。子どもたちとの対話を、ぜひ心がけていただきたいと思います。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した生徒の割合は94.6%であり、全国平均(93.4%)を上回る意識でした。

